

平成30年度 水稻害虫トラップ情報（7月上旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ（畦畔）

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、現在第1世代が誘殺されており、誘殺数は津軽では平年並～やや多く、県南ではほぼ平年並に推移しています（十和田では越冬世代の誘殺が早かったが、誘殺数としてはほぼ平年並です）。

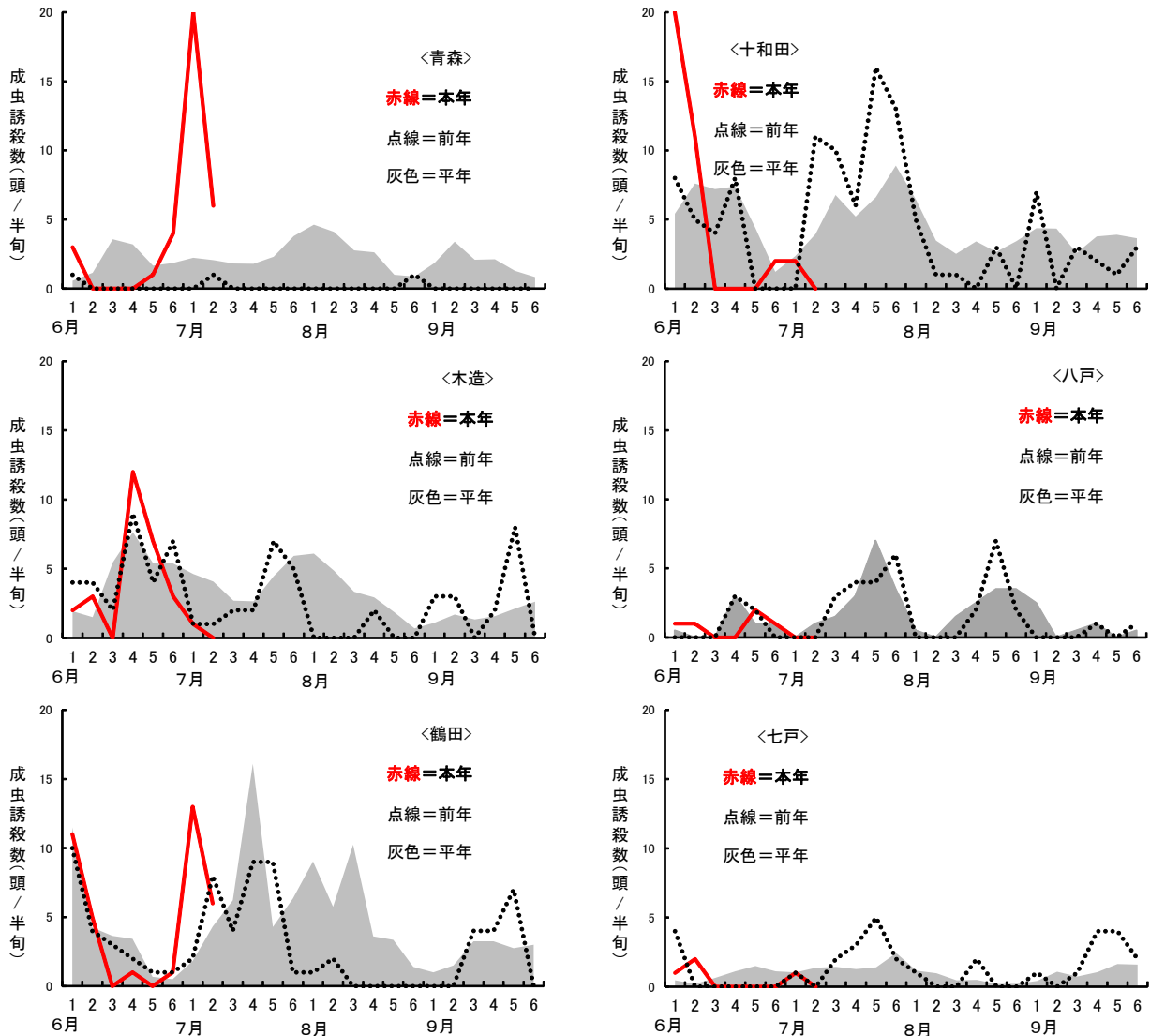


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森8年、木造6年、鶴田4年、十和田10年、七戸9年、八戸2年の平均値

(2) 予察灯での第1世代の誘殺は6月6半旬からみられ、7月2半旬までの誘殺数は青森では平年よりやや多いものの、その他の木造、十和田、八戸では平年より少ない状況です。今後夜温が高い日が続くと、誘殺数が増加し7月中旬頃に第1世代の最盛期となると考えられます（具体的なデータは省略）。

2 アカスジカスミカメ（畦畔）

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでの誘殺数は、青森と木造で平年よりやや多いほかは、ほぼ平年並に推移しています。

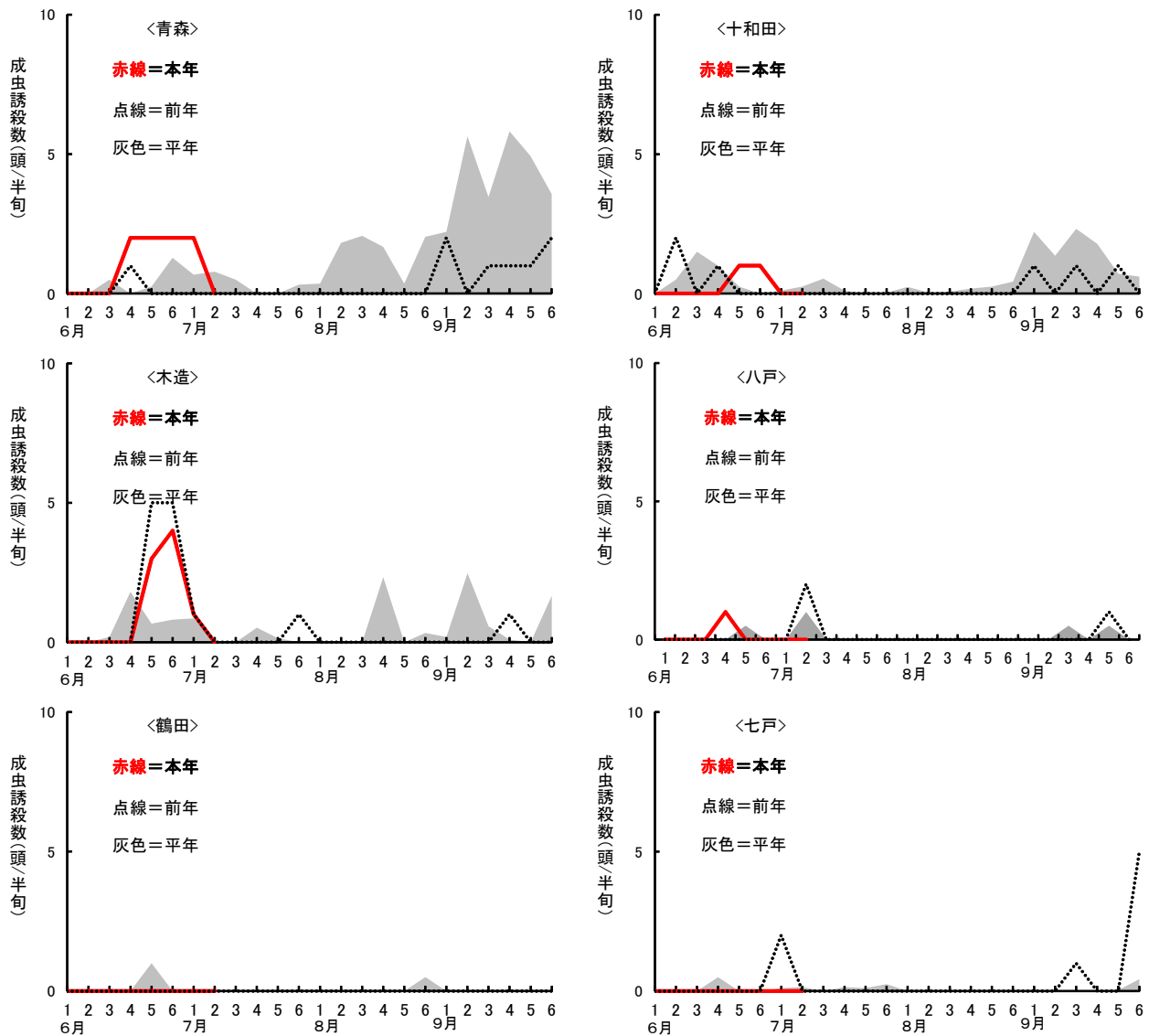


図2 アカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森5年、木造4年、鶴田3年、十和田5年、七戸5年、八戸2年の平均

(2) 予察灯では第1世代と考えられる誘殺が、平年より早い6月下旬から見られ、青森、木造、十和田ともこの時期としては誘殺数が多い～やや多くなっています。八戸では本年はこれまでに誘殺されていません（データ省略）。

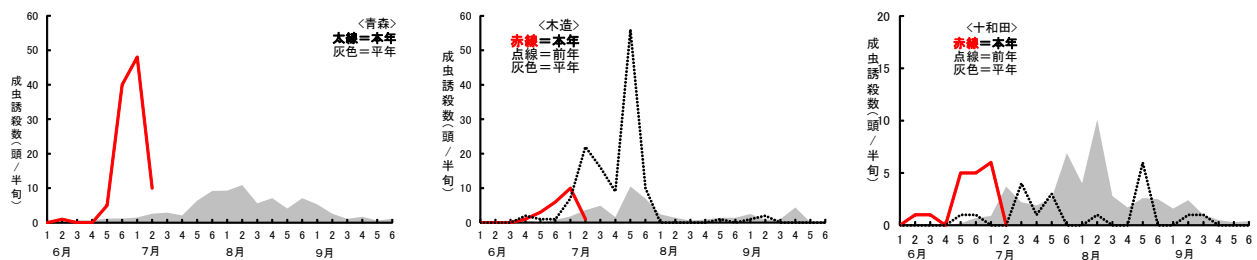


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数
(青森は前年の予察灯調査は実施していない)

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第1世代の誘殺時期は6月下旬～7月上旬で、誘殺数は津軽で平年より多く、県南では平年並～やや少ない傾向で推移しています。

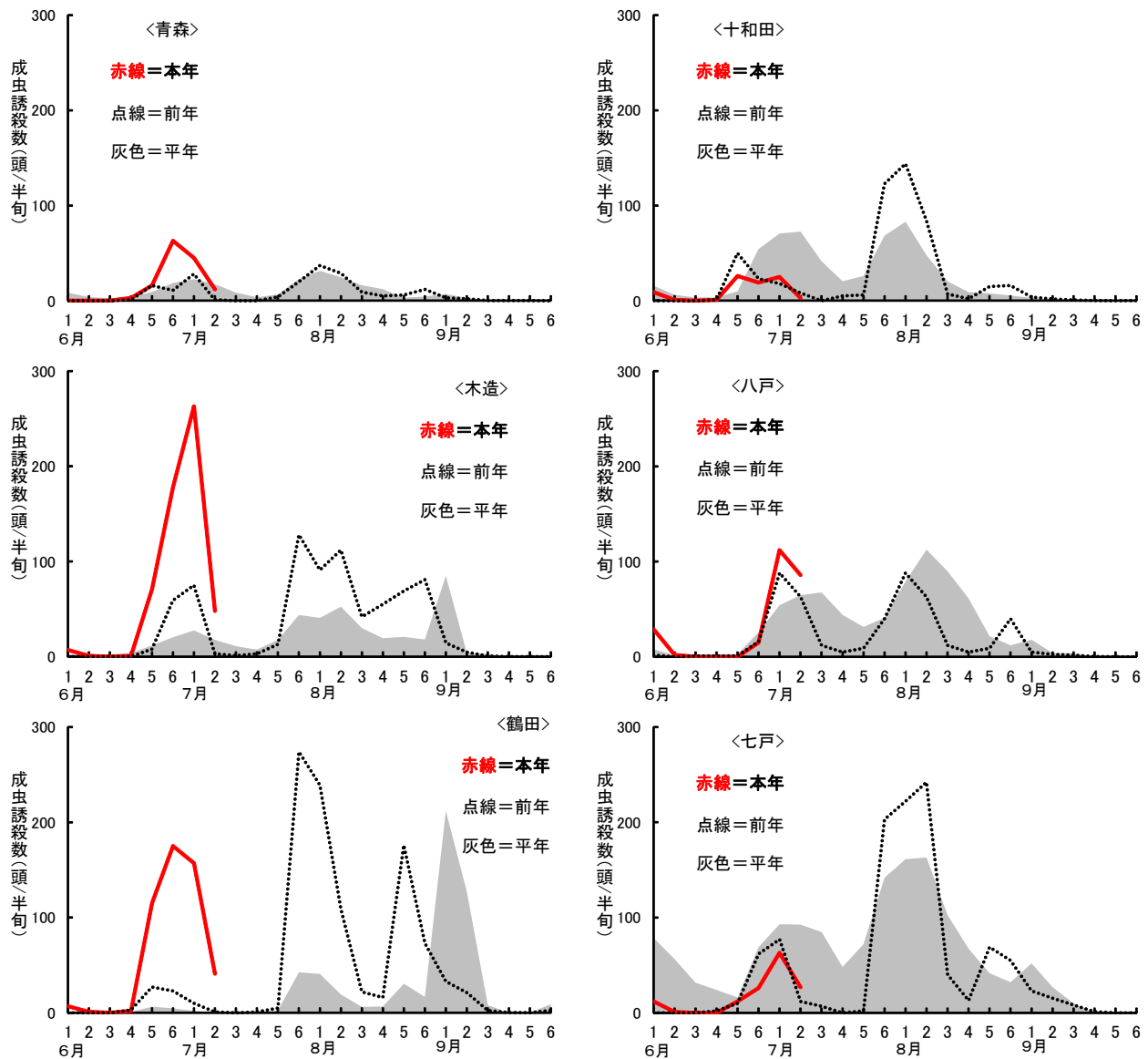


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半月別誘殺数

平年値は、各地点9年の平均

(2) 予察灯での第1世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に6月下旬～7月上旬にみられ、誘殺数は津軽は平年より多く、県南では平年並～やや少なく推移しています (データ省略)。

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-19001 担当:市田